

平成 20 年度水と緑の森づくり事業の実績と評価結果について

平成 21 年 12 月 4 日
森 林 政 策 課

平成 20 年度に実施した水と緑の森づくり事業について、「富山県森林審議会森づくり部会（長井真隆部会長）」において、現地視察を行った後、事業評価をいただきましたのでご報告します。

記

1. 開催日 平成 21 年 6 月 10 日（水）

2. 現地視察

- (1) 里山再生整備事業実施箇所 富山市婦中町小長沢地内
 (2) みどりの森再生事業実施箇所 富山市婦中町高山地内

3. 事業費の概要と評価結果

(1) 富山県水と緑の森づくり基金積立金	3 5 1 百万円	
内訳 水と緑の森づくり税相当額	3 5 0 百万円	
寄附金・運用益	1 百万円	
(2) 水と緑の森づくり事業費	3 2 7 百万円	評価結果
I 水と緑の森づくり推進事業	1 百万円	(別紙参照)
II 里山再生整備事業	1 5 5 百万円	【達成】
III みどりの森再生事業	1 0 4 百万円	【ほぼ達成】
IV とやまの森づくりサポートセンター活動推進事業	2 3 百万円	【達成】
V とやまの森づくり総合情報システム事業	5 百万円	【達成】
VI とやまの森づくり普及啓発推進事業	8 百万円	【達成】
VII 県産材利用促進事業	2 1 百万円	【達成】
VIII 県民による森づくり提案事業	9 百万円	【達成】

4. 総合評価と主な意見

里山林の評価については地域の要望に応じて進められ、739ヘクタールと計画を大きく上回る実績を上げており評価できる。今後とも、地域ニーズ等を踏まえた事業の実施に努め、整備後の里山の維持管理が、地域の皆さんにより続けられるよう働きかけられたい。

混交林の整備については、里山林の整備等の事業を優先して実施した結果、計画をやや下回る実績となっている。今後は、計画どおり実施できるよう、森林所有者の方々の理解のもと事業に取り組まれたい。

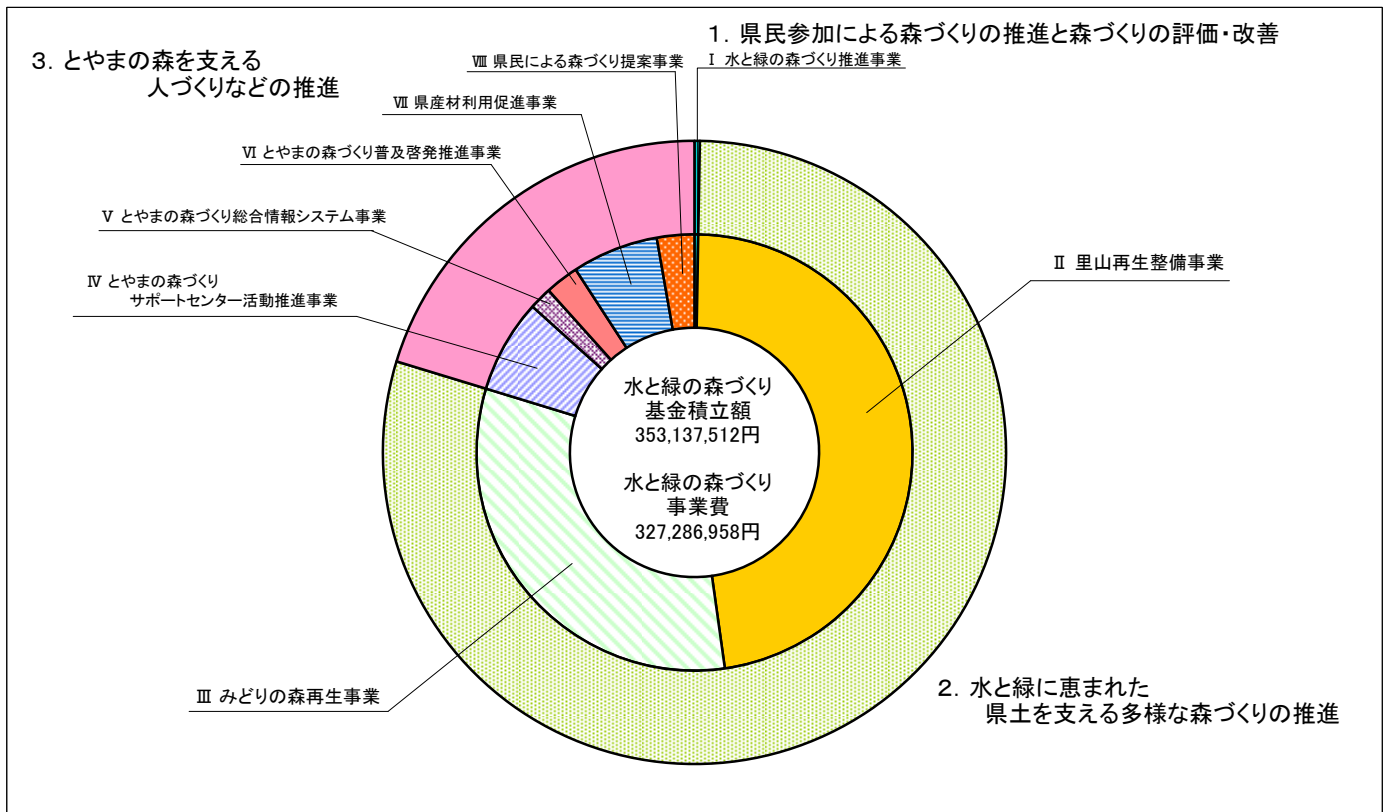
森づくりを支える人づくりについては、森林ボランティア等による森づくりへの参加延人数が4年後の目標人数の6,000人を大きく超える10,033人の実績を上げており評価できる。森づくり活動への参加を支援する取組みを引き続き進められたい。

また、県民の森づくりに関する意識をより一層高めるためにも、木の個性、素材の良さを活かした利用の輪を広げるとともに、子供の頃から木を身近に使っていくことを通じて、人や木や森との関わりを考えられる豊かな心を育む「木育」の推進により、県産材の普及啓発に努められたい。

別紙：個別事業の評価結果（平成20年度）

事業名	評価結果
里山再生整備事業	<p>評価対象：里山林整備の実施面積 評価方法：整備目標面積に対する進捗状況の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成23年度までの整備目標1000ha、20年度計画400haに対して、<u>739ha</u>で整備が進められたことから、「達成」とする。
みどりの森再生事業	<p>評価対象：混交林整備の実施面積 評価方法：整備目標面積に対する進捗状況の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成23年度までの整備目標1000ha、20年度までの計画(累計)165haに対して、地元などからの要望の高い里山整備を優先したことから本事業の整備面積は<u>135.4ha</u>となったが、計画に対して80%以上の実績であることから、「ほぼ達成」とする。
とやまの森づくりサポートセンター活動推進事業	<p>評価対象：県内におけるボランティアの活動状況 評価方法：森づくり参加延べ人数の達成状況で評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成23年度末の森づくりへの参加延べ人数の計画6,000人に対して、それを上回る<u>10,033人</u>の参加実績があったことから、「達成」とする。
とやまの森づくり総合情報システム事業	<p>評価対象：森林GISデータの整備状況とその活用状況 評価方法：森づくり事業の評価・改善に向け、県民への情報提供に、森林GISデータをどのように活用したかを評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 県民への分かりやすい情報提供に必要な機能を有した「森林GISシステム」により、竹林の整備方針の検討など森づくり事業の評価・改善に活用したこと、同システムを用いて作成した情報図等をとやまの森づくりホームページで公開し、県民への情報提供を行ったことから、「達成」とする。
とやまの森づくり普及啓発推進事業	<p>評価対象：「森の寺子屋」の開催状況 評価方法：「森の寺子屋」実施状況で評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 20年度計画50回に対し、それを上回る<u>91回</u>の開催実績があったことから、「達成」とする。
県産材利用促進事業	<p>評価対象：木製品設置施設等での県産材の評価 評価方法：施設管理者等のアンケートにより評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 県産材ベンチ設置や県産材積木の配布など、各事業を実施した施設管理者や施設利用者等のアンケート調査では、概ね良好な意見が多く、県産材の良さがPRできたと判断されることから、「達成」とする。
県民による森づくり提案事業	<p>評価対象：県民実施事業の実行状況 評価方法：提案事業を総合的に評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 20年度に実施した団体20団体中12団体が新規に取組み、その参加人数も3,577名となるなど、多様な実施主体によりきめ細かい事業が実施され、多くの県民が森づくりに参加する機会を提供することができたこと、アイデア提案により県民意見を森づくり事業に反映することができたことから、「達成」とする。

平成20年度 水と緑の森づくり事業の実績



富山県水と緑の森づくり基金積立額 353,137,512 円

水と緑の森づくり 税収相当額	352,202,000 円
寄 付 金 ・ 大門町土地改良区 ・ (株)富山第一銀行 ・ 富山県母親クラブ連合会	120,239 円
運 用 益	815,273 円

水と緑の森づくり事業費 327,286,958 円

1. 県民全体で支える森づくりの推進と森づくりの評価・改善 1,105,538 円			
事業名	事業概要	主な事業実績	事業費(決算額)
I 水と緑の森づくり推進事業	県民全体で支える森づくりを推進し、森づくりの計画、実行の改善のための評価、事業の広報を実施	水と緑の森づくり会議 森林審議会森づくり部会 開催	1,105,538 円
2. 水と緑に恵まれた県土を支える多様な森づくりの推進 259,425,643 円			
事業名	事業概要	主な事業実績	事業費(決算額)
II 里山再生整備事業	地域や生活に密着した里山の再生整備を県民協働で推進	実施地区数 84地区 整備対象面積 739ha	155,040,407 円
III みどりの森再生事業	風雪被害林や過密人工林などを、スギと広葉樹の混交林に誘導	整備面積 74ha { 風雪被害林 34.7ha 過密人工林 39.3ha	104,385,236 円
3. とやまの森を支える人づくりなどの推進 66,755,777 円			
事業名	事業概要	主な事業実績	事業費(決算額)
IV とやまの森づくりサポートセンター活動推進事業	森林ボランティアを総合的・専門的に支援し、県民参加による森づくり活動を支援	登録団体数 58団体 3,416人 24企業 (H21.3.31現在) 森づくり参加延べ人数 年間10,033人	23,319,012 円
V とやまの森づくり総合情報システム事業	森づくりへの県民の理解を深め、県民参加を推進するため、とやまの森の現状や森づくり活動に関する情報を提供	森林GISシステムの運用 とやまの森づくりホームページでの情報公開	4,844,580 円
VI とやまの森づくり普及啓発推進事業	森づくりへの県民の理解を深め、県民参加を推進するため、「森の寺子屋」を開催	森の寺子屋 91回開催 (6,175人参加) フォレストリーダーのスキルアップ研修 「とやま森の教本」 16,000部作成	8,420,564 円
VII 県産材利用促進事業	とやまの森づくりにつながる県産材利用への理解を深めるため、県産材製品の設置や、公共施設の木質化を推進	県産スギベンチの設置 80基 一万ピースの積木製作 イベント等へ貸出し 公共施設の内装木質化への支援 など	21,243,129 円
VIII 県民による森づくり提案事業	県民自ら企画・立案・実施する事業への支援アイデアを募集し事業への反映を検討	県民実施事業 23件応募、20件実施 アイデア提案 10件応募、うち1件をH21事業に反映	8,928,492 円